

健康と光線

自著を出版

今般、株式会社ワニブックスより、健康に関する一般書籍として、「太陽を浴びれば、医者はいらない」(定価・本体1238円+税)を出版しました。

出版の主旨は、一般読者を対象に、無料で出来る日光浴が健康を保つために欠かせないことを説明し、日光浴を通して紫外線を取り戻して貰うことです。

行き過ぎた 紫外線バッシング

私が父の後をついでサンモア光線療法の仕事を従事して三十有余年になります。この間を振り返って、前半の約十五年間は、「日光浴は健康の源」という古

くから信じられてきた言い伝えを抵抗なく素直に受け入れてくれた時代でした。しかし後半の約十五年間の間に、大手化粧品会社が紫外線

から、食品では必要量を補うことが極めて難しいビタミンDが生成されませんから、ビタミンD欠乏症になるのは必定であり、

太陽を浴びれば、医者はいらない

—株式会社 ワニブックスより出版—

サンスクリーン
の広告宣伝を
強化する中で、
紫外線を浴び

サンナモア光線協会
サンナモア中央診療所

医学博士 宇都宮 光明

健康を保つ上で悪影響をもたらすことは言つまでもありません。

本書の骨子

この余りにも行き過ぎた紫外線は皮膚癌になるとの脅しを常識の域にまで押し上げました。

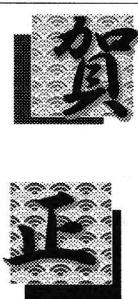
ご購読と
ご推奨のお願い

本書の骨子は、多大な恵みをもたらしてくれる日光浴の意義について述べ、近年になって誕生したUVカットに関する数多の商品の広告宣伝を通して作

株式会社ワニブックスの支援がついて、出版に漕ぎ着けましたが、内容の大半は本紙に記述したものと重複しています。

（株）東京光線療法研究所
サンナモア光線治療院
(五日より営業します)

平成二十三年 元旦



られた紫外線に対する偏った見解を是正する点にあります。要是適度な紫外線を浴びて日焼けする功罪を論ずるなら、日焼けしてビタミンDが生成される一事を取つても功は自明であるのに、功は無視して、日本人ではありもしない皮膚癌を持ち出しまで罪をいたずらに強調することで恐怖心を煽る今の時代の大きなうねりを修正しなければ、結果的に罪を感じた人々が自身の健康を失うことを知つて欲しいとの思いが、私の宿願だったからです。

拙著が一冊でも多く世に出ることによって、自然の成り立ちについての理解を深め、日光浴の大恩を見直す一助になり、多くの人々が日々の暮らしに日光浴を取り入れ、健康保持に役立てて下さることを願っています。

るサンナモアの愛用者には目新しさとは載っていないかも知れませんが、読んで下されば必ずお役に立つと自負していますので、書店で本書を購入頂き読んで欲しいと思っています。またお知り合いの方に購入頂きました。

一病息災

排尿障害 ～前立腺肥大と過活動膀胱～

サナモア光線治療院

院長 医学博士 宇都宮 正範

一般に健常成人は、日中八回、夜間にゼロ、一回します。このように、排尿う行為が、日常生活上切り離せない行為の一つですがために、多くの方を悩ま因となることもしばしばです。尿に関連した症状やトラブルは、排尿時痛、血尿、頻尿、尿感、尿失禁、尿閉などが

また、泌尿器系とは、左右の腎臓から尿管、膀胱、前立腺（男性のみ）、尿道までを指しますが、腎臓で作られた尿は、尿管を通ってタンクの役目を担う膀胱に貯留します。膀胱から連なる尿道の長さは、男性が16cm～20cmで、女性が4cm～5cmと短く、この尿道の長さの違いから、起こる排尿障害に違いを生じることになります。

女性の場合は、加齢とともに骨盤底筋の力が低下することから尿道が短いことから、尿失禁きたしやすいことが特徴で、漏れる腹圧性尿失禁が最も多く

排尿障害

排尿障害と言つても原因は様々で、男女の違いによつて、その様相も全く異なります。今回提示した症例は、男性特有の前立腺肥大ですが、女性に多い過活動膀胱を含めた尿失禁に対しても、サナモア光線療法で一定の効果が期待されますので、排尿に関連したトラブルでお困りの方は、是非一度サナモアを試して頂きたいと思います。

症 例：75歳、男性。

主訴：トイレが近い。排尿時の不快感。残尿感。

起始・経過：以前から上記症状を自覚していたため、近医にて精査を施行したところ、前立腺肥大と診断。薬物治療が始まるも、なかなか症状の改善を認めなかつたため、自宅にて サンモアで治療を行つた

治 療：側臥位にて照射。

下腹部(BD)、腰部(BD)、会阴部(BD)各30分以上。足部(AB)15分。

経過：治療を開始して一か月が経過した頃、排尿時の不快感は減少。半年後には、尿の流出に勢いを認め、残尿感も少なくなってきた。

現在、通院しながら、毎日サンモア光線療法を行っている。

男性に見られる

排尿障礙

急に起り、我慢できない強い尿意切迫感から尿漏れを起こす切迫性尿失禁が続きます。

本邦の患者数は800万人と推定されます。自分の意思とは関係なく、膀胱の排尿筋が勝手に収縮したり、過敏な働きをすることによって起き、その発生機序は、神経系障害、骨盤底筋の障害、原因不明の三つに分けられます。



謹
賀
新
年

vol.44 宇都宮 正範

サナモア光線治療院 開院から十周年

明けましておめでとうございます。今年も、皆様の健康維持に、少しでもお役に立てるよう、精進する所存であります。よろしくお願い申し上げます。

西暦二〇〇〇年に開院したサナモア光線治療院は、二〇一〇年九月で、ちょうど丸十年が経ちました。これまで、延べ一〇九四名の患者さんを治療してきました。治療室の壁に付いた汚れを見て、光線療法を必要としている大勢の方がいることを再確認するとともに、紫外線バッシング以来、逆風にさらされている現状に、一矢を報いるには、まだ至っていないと感じております。

ところで、現在、治療院に通われている方は、多くがサナモア愛用者からの御紹介で、全く初めての方が、当院の看板を見て入っていくということは、ほとんどありません。開院当初、宣伝目的もあり、新聞に折り込み広告をはさんだことがあります。だが、その効果はほとんどゼロに等しく、数人の方に来て頂

きました。愛用者の方から御紹介が欠かせないという思いが強く、もし、病院治療で満足な成果が上がりず、不安をかかえ、お困りの方

がいらっしゃら、是非、声をかけさせて下さい。

これからは、光線療法が、医療の一部として、確固たる地位を築けるよう努力することは無論のこと、これから十年に何ができるのか、また我々がどのようなメッセージを発信すればいいのかについて考え、光線療法のさらなる普及に全力を注ぎたいと思います。

ナモア光線治療師養成講座を六月末に開講する予定でありますので、光線治療院の開業をご検討されている方やサナモア光線療法について勉強したいとお考の方は、サナモア光線治療院(03)一五七五九一三七一〇までお連絡下さい。

なお、日程等の詳細につきましては、次号に掲載させて頂きます。

当協会の趣意に賛同され、サナモア光線療法の普及にご協力頂ける方、治療院の開業を検討なさりたい方は、お問い合わせください

サナモア光線治療院
〒153-0063
東京都目黒区目黒1-23-11
TEL (03) 5759-3710
FAX (03) 5759-3720

いたのみで、長続きもせず、治療の効果が出る前に、来なくなってしまった。このような経験からも、光線療法の普及には、愛用者の方からの御紹介が欠かせないという思いが強く、もし、

治療に関連した話題の講演や治療例の報告を中心とした研究会を開催していますので、一般の愛用者の方も是非ご参加下さい。なお参加は無料です。

第三十四回
「光と熱研究会」
のお知らせ

第十六期
サナモア光線治療師
養成講座のお知らせ

昨年に引き続き、本年も、サ

◆募集◆

サナモア光線治療師

当協会の趣意に賛同され、
サナモア光線療法の普及に
ご協力頂ける方、治療院の
開業を検討なさりたい方は、
お問い合わせください

サナモア光線治療院

〒153-0063

東京都目黒区目黒1-23-11

TEL (03) 5759-3710

FAX (03) 5759-3720

場所: サナモア光線治療院
三階会議室

午後二時三〇分

日時: 四月二十三日(土)

第22回

日本療術学会から

愛媛県松山全日空ホテル
平成22年11月21日～22日

シンポジウム

「保健と光線療法」

財全国療術研究財団
光線部門
宇都宮光明

光線療法の背景

光線療法の起源は、先人が太陽光線の恵みを靈感的、直感的、体験的に会得し、日光療法の効能、効果を信じたことにある。実際、現代医学の祖と仰がれているヒポクラテスも医療に日光

療法を取り入れている。ところで保健と光線療法であるが、光線が保健面で果す効用について、紫外線、可視線、赤外線のスペクトル別に述べる。

紫外線の作用

太陽光線の紫外線を浴びてさえいえば、保健面で欠かせないビタミンDは過不足なく生成されるが、浴びないと容易にビタミンD欠乏症になるのが自然の摂理である。ビタミンDは抗クル病効果で発見されたため、カルシウム代謝調節ホルモンと位置付けられてきたが、その後に

細胞のビタミンD受容体を介して細胞分化を誘導する作用が発見された。このビタミンDの大作用に併せて、癌予防効果について文献的に考察する。

[1] カルシウム代謝調節ホルモンとしての作用
ビタミンDはカルシウムの吸収を促し排泄を抑制するため、カルシウム欠乏状態になると不

足するカルシウムを補うため副甲状腺ホルモンのパラソルモンが働いて骨吸収を促し、クル病や骨粗鬆症になる。この際、骨から過剰に溶出したカルシウムは血中から細胞内に移行し、細胞内カルシウム濃度が上昇するため、細胞外カルシウム濃度との間の一万分の一の濃度差を保てなくなる。この状態をカルシウムパラドックスと呼ぶが、高血圧、動脈硬化、糖尿病、免疫異常だけでなく、悪性腫瘍の危険因子になる。

[2] 細胞分化誘導作用について

ビタミンDの受け皿になるビタミンD受容体は、小腸粘膜上皮細胞、副甲状腺主細胞、造骨細胞、腎臓の遠位尿細管細胞、膀胱、下垂体、甲状腺、皮膚、骨、肝臓、胸腺、脳、骨髄、軟骨、胎盤、悪性腫瘍細胞など全身の組織、臓器に広く分布しており、それぞれの細胞の分化を誘導する。特に悪性腫瘍細胞では、細胞の増殖を抑制し正常細

可視線の作用

生命には光受容器を介して覚

胞への分化を誘導する作用が示唆され注目されている。

[3] ビタミンDの癌予防効果

紫外線被曝量の多寡と癌予防効果についての研究は、1980年にガーランドが乳癌と大腸癌の罹患率が被曝量の多い地域で低く少ない地域で高いのは、ビタミンDが癌を予防すると報告したのを嚆矢とする。その後、卵巣癌、前立腺癌、悪性リンパ腫、膀胱癌、食道癌、腎臓癌、肺癌、肺癌との間に同様な傾向が認められ、大腸癌ではほぼ二倍になると報告された。また皮膚癌の一種の悪性黒色腫では、1982年にショウラが日光浴びない屋内労働者は屋外労働者の二倍発症すると報告している。なおこれらの癌予防効果の報告で重視されているのが前述したビタミンDの作用である。

赤外線の作用

從前から指摘されてきた赤外線の温熱療法としての効果は、末梢循環の改善、心拍出量の増大、発汗促進、新陳代謝の促進、筋緊張緩和、鎮痛作用などであるが、近年になつて保健面で極めて重要な作用がある熱

醒と睡眠の一日のリズムを24時間に同調させる体内時計がある。これを概日リズムと呼ぶが、光が体内時計の中枢の視交叉上核を経て松果体ホルモンのメラトニンの分泌を抑制することで、活動に適した日中のリズムが始動する。この状態が十五時間前後続いた後にメラトニンの分泌が増し、休息や睡眠に適したりズムになる。また心と体のバランスを保ち精神を安定させるセロトニンはメラトニンの前駆物質のため、分泌量が増し気分を爽快にして抑うつ状態やうつ病を改善する効果が期待できる。

(四ページからつづく)

ショック蛋白質が生成されることが明らかにされた。熱ショック蛋白質の遺伝子発現は細菌から哺乳類まで共通に見られ、細胞傷害から生体を防御する作用、NK細胞活性を始め自然免疫能を高める作用、生物の構成成分で生命機能を支配する蛋白質の品質を管理する作用がある。蛋白質の品質管理とは、蛋白質の構造上の間違いや変性を正して役割に応じて正しく働くようにすることであるが、この機能をシャペロン機能と言うため、熱ショック蛋白質を分子シャペロンと呼ぶことがある。

光線の

その他の作用

これまでの研究から、光線のその他の作用として、コレステロール値の低下、尿酸の排泄、新陳代謝の亢進、肥満の解消、炭酸肺の予防などに有用なことが報告されている。

一般演題

「脳下垂体腫瘍の

施療経験」



社団法人 神奈川県療術会
海渡一二三

目的

患者は脳下垂体腫瘍の手術を先延ばしにして、光線療法を希望して来所したが、極めて短期間の施療で想定外の好結果を得たので、若干の考察と併せて報告する。

症例

「患者」62歳 女性。

「初診日」昭和61年6月26日。

「主訴」頭痛 嘔吐 めまい

歩行時のふらつき 左目のまぶ

たが開かない。

【現病歴】前記の症状で病院を受診、脳下垂体の良性腫瘍と診断され、手術のため頭髪を剃つたが、演者が行っている四台の光線治療器での施療を希望して来所した。

【既往歴】特記すべきことはない。

【初診時所見】カツラをかぶつて、ふらつきながら来所した。

左目のまぶたは閉じて開かない。

手術を先延ばしにした理由を患者に尋ねたら、一言、怖いと答えた。なお患者は自宅で光線療

法を愛用しているが、治療院での多灯照射を強く希望したので、脳下垂体腫瘍に伴う随伴症状が軽減することを期待して施療することにした。

療法ならびに経過

四台の光線治療器で四灯照射をした。カーボンはAとDで施療したが、二日目からBとDにした。照射部位は側臥位で前頭部から顔面と腰と臀筋と膝に各30分、後頭部と腹と足裏に各30分、後頭部と腹と足裏に各30分照射、次に仰臥位で左側頭部と腰部に右からと膝部に左から各30分、左右を替えて各30分照射した。また夜に自宅で光線療法をするように指示した。施療を始めて三日が過ぎた頃から、頭の痛みが取れ、左目が開き、嘔吐、めまい、ふらつきが改善したので、約二週間経過した時点で病院の再検査を受けたが、手術は経過を診て検討することになり、患者は大変に喜んで報告してきた。それから当院の施療を約一ヶ月間受け、後は自宅で続けるように指示した。

考案ならびに結語

脳下垂体腫瘍は良性腫瘍と考えて良く、ホルモン産生性腫瘍とホルモン非産生性腫瘍がある。ホルモン産生性腫瘍は過剰に分泌されるホルモンによる症状で早期に診断されることが多いが、約7割を占めるホルモン非産生腫瘍は腫瘍が大きくなつて、脳圧亢進に伴う頭痛や嘔吐、視神経や視交叉を圧迫することによる視野の障害や視力低下や眼球運動の障害などの症状が出てから診断されることが多いとされている。

報告例は年齢を越えたが、今まで症状の再燃はなく元気に過ごしているが、光線療法で治癒力が向上して腫瘍が自然退縮で縮小した可能性もあるのではなかいかとを考えている。

分照射、次に仰臥位で左側頭部と腰部に右からと膝部に左から各30分、左右を替えて各30分照射した。また夜に自宅で光線療法をするように指示した。施療を始めて四日目に来所するまで三日間、当院と自宅で計六回の施療をしたところ、症状が明らかに改善した。そのため嫌がる患者を説得して同一医師の診察を受けさせたが、手術をせずに経過観察になつたとの報告を受けたのである。演者は医師の診断について云々できる立場にはないが、症状の改善が経過観察につながつたと考えている。

なおホルモン非産生性腫瘍の場合は、脳ドックなどで無症状の段階で偶然見つかった腫瘍は、自然に縮小する自然退縮もあるため、手術をせずに経過観察に留めることが多いとされている。

報告例は年齢を越えたが、今まで症状の再燃はなく元気に過ごしているが、光線療法で治癒力が向上して腫瘍が自然退縮で縮小した可能性もあるのではなかいかとを考えている。

治 驗 例 報 告

再発を繰り返す胃潰瘍を

サナモアで治療

神戸市 ウエノ光線療研

上野 健太郎氏報告

症例 58歳 男性 会社員
症状 四年前に胃潰瘍を患い、近医で薬物治療を受け、一ヶ月でほぼ改善したが、それ以後、時折、みぞおち付近に痛みを感じるようになる。その都度、診察を受けていたが、悪性所見はなく、胃潰瘍の再発と診断され、治療を受けるも、再発を繰り返すことに不安を感じ、友人に相談したところ、サナモア光線療法を勧められ来所した。

TEL 078-331-1358
施行した。翌日からは、友人から借りた治療器を用い自宅での治療を開始。休日には一日二回以上の照射を行い、毎日、熱心に続けたところ、一週間後には、上腹部の不快感は軽減。一ヶ月

近医で薬物治療を受け、一ヶ月でほぼ改善したが、それ以後、時折、みぞおち付近に痛みを感じるようになる。その都度、診察を受けていたが、悪性所見はなく、胃潰瘍の再発と診断され、治療を受けるも、再発を繰り返すことに不安を感じ、友人に相談したところ、サナモア光線療法を勧められ来所した。

TEL 078-331-1358
施行した。翌日からは、友人から借りた治療器を用い自宅での治療を開始。休日には一日二回以上の照射を行い、毎日、熱心に続けたところ、一週間後には、上腹部の不快感は軽減。一ヶ月

が過ぎた頃には、時折認めていた痛みもほとんど感じなくなる。その後、経過は順調で、胃腸症状は気にせず、毎日を過ごせるようになり、三ヶ月後の診察では、以前の再発の時より回復が早いようだと医師から説明された。それから、一年半が経過したが、再発もせず順調に経過しており、サナモアは手放せないと言っている。

全自动光線治療器

はつらつさんと
ジョイントカーボン

サナモアはカーボンの芯剤を完全燃焼させることで最も効果のあるスペクトルを含む光線を放射するように、正面からカーボンをぶつける正面発光式を採用しています。そのため手動式のサナモア7号器・8号器では照射時間が十分強で切れ、長時間の照射には不便をお掛けしてきました。この点を改良したのが全

て、照射時間は5分刻みで60分まで設定でき、カーボンの消耗に合わせてジョイントで送り安定した光線を放射します。

*

なお、はつらつさんと使用の際には、安全性を保ち、事故を未然に防ぐため、ジョイントカーボン以外のカーボンは絶対に使用しないで下さい。使用上の注意は、「はつらつさん取扱説明書」をご覧下さい。

治 驗 例 報 告

サナモアで大腸癌の術後
早期から治療

福岡県春日市 育美健康光線療研

山崎 いく子(旧姓前田)氏報告

TEL 091-581-1039
五七一-一五七三

症例 80歳 男性
症状 サナモア愛用者。排便の際に出血し、肛門周囲に痛みを感じたため、痔を疑い、自宅での照射方法(BDカーボンにて)を勧めた。その後、病院での

症例 80歳 男性
症状 サナモア愛用者。排便の際に出血し、肛門周囲に痛みを感じたため、痔を疑い、自宅での照射方法(BDカーボンにて)を勧めた。その後、病院での

検査で、切れ痔の他に、肛門より3cm奥に癌が見つかり、すぐに手術を受けたとのこと。今回、退院してすぐに、術後のサナモア照射方法について質問に来られた。

治療方法について質問に来られた。その一ヶ月後に来所したが、まだ痛みが続いているとの指導。その一ヶ月後に来所したが、まだ痛みが続いているとの指導。その後、指示通りに、毎日、五時間近くの照射を続けていたが、術後の経過は大変良好で、痛みもなく、再発もせずに、元気に過ごしているようです。

症例 80歳 男性
症状 サナモア愛用者。排便の際に出血し、肛門周囲に痛みを感じたため、痔を疑い、自宅での照射方法(BDカーボンにて)を勧めた。その後、病院での

症例 80歳 男性
症状 サナモア愛用者。排便の際に出血し、肛門周囲に痛みを感じたため、痔を疑い、自宅での照射方法(BDカーボンにて)を勧めた。その後、病院での

治療方法について質問に来られた。その一ヶ月後に来所したが、まだ痛みが続いているとの指導。その後、指示通りに、毎日、五時間近くの照射を続けていたが、術後の経過は大変良好で、痛みもなく、再発もせずに、元気に過ごしているようです。

治驗例報告

子宮筋腫と乳腺症に急性虫垂炎を

併発したサナモア治療経験

川崎市
東京光線治療院

海渡一二三氏報告

一九五〇年十一月七日

一年間継続し、下腹部の不快感

症例 52歳 女性 栄養師
48歳時に、病院の検査を
受けて子宮筋腫と診断。子宮筋

腫は徐々に大きくなり、下腹部の不快感、膀胱圧迫による頻尿等の自覚症状を認めたため、知人に相談したところ当院を紹介。乳腺症も指摘されていたことから、合わせて治療を開始した。

腰椎ヘルニア術後の痛みと 腰筋筋膜炎

掌蹠膿疱症に対するサナモアの効果

福岡県大野城市 森川整体光線療院 森川 嘉文氏

TEL〇九一五〇一三五八二

症例
41歳
女性

手持を受けて、ござ、十四前頭

から、体動時の腰痛と右大腿背

ほる、三年前こ掌庶農局庄の參

断を受け、両手掌と足裏の皮が

「あい、次元の方館所も見られ

現在、皮膚科の塗布薬は使用し

察法怪圖
骨格喬正後二、A3

療法経過 骨格矯正後に、AB

カーボンにて、両足裏と両手掌を各20分、膝、腹部、背部を各10分。両目、後頭部、上腹部（肝臓）を集光して各10分。B Bカーボンに変更し、腰部と右大腿背面を各20～30分照射。治療は週に二、三回。三回の治療で右大腿背面の張りは完全に認めなくなり、五回の治療で、腰痛は当初の1/5程度にまで軽減したが、寝返り時と起床時には、痛みが残っていた。六回目

から、腰部と右大腿背面の治療を、B.B.からA.B.カーボンに変更。七回目の治療後、日常生活における寝返りや起床時の腰痛は、完全に消失した。また、手足の皮膚は、サナモアを始めてから盛んにむけ変わり、改善傾向にあつたが、正常な部位に比べ、患部の皮膚だけ薄い状態がしばらく続いた。そこで十回目から、A.B.カーボンにて、足裏、

両手掌の照射時間を30分に増やした。その他は、ABにて、膝、腹部、腰部、背部、上腹部(肝臓)、両目、後頭部を各10分照射。それ以降、徐々に皮膚はむけなくなり、十五回程度で厚さも正常な部位と同じになった。その後もサナモアを続けたが、腰、皮膚とも、本人も驚くほど経過良好である。

を含めた自覚症状は、ほぼ改善した。なお、経過中に、右下腹部痛を認め、病院で急性虫垂炎と診断されたため、当院にて、患部である右下腹部を重点的に二日間行ったところ、こちらも治療できたので合わせて報告する。

サナモアカーボンの 類似品にご注意下さい

サナモアA(緑印)、B(赤印)、C(青印)、D(黄印) カーボンは、その使用法を書いた著書「光線療法学」ともどもご愛用者各位の御信頼を戴き、全国津々浦々まで高い評価を受けておりますことはご存じの通りです。

ところが他社製カーボンに「光線療法学」をセットしたり、当研究所が独自に広めたカーボンの呼び名のA、B、C、Dや緑印、赤印、青印、黄印を勝手に流用したり、あたかもサンモアと同じと見せ掛けて販売している業者がいます。もとより、このような道理にもとる人をあざむく行為は断じて許されるものではありませんが、当研究所としては他社製カーボンを使用した場合の効果について一切の責任は持てませんので、呉々もご注意下さい。

なおカーボンについて疑問の点がありましたらお問い合わせ下さい。

サンモア光線療法 愛用者の声

太陽を浴びれば、医者はいらない

医学博士
宇都宮光明
ガンをも防ぐ
ビタミンDが、
病気に負けない
心と体を作る!

週一回30分の日光浴で
免疫力がぐっと高まる!

アトピー・湿疹・アレルギー・花粉症・
湿疹・湿疹・皮膚炎・虫刺され等は得到有效的
に改善されることがあります。

「太陽を浴びれば医者は
いらない」を読んで
盛岡市 矢幅 嘉子様

太陽光線のABCからZま
で、平易な表現ながら、その一
言一言から先生の切実で熱い
メッセージが伝わってきました。

実は、この夏、長男が、突然体調を崩し、フジタ太陽光線
治療院にかけつけ、助けて頂いたのですが、その後、同った際に「太陽を浴びれば医者はいらない」というワニブックスより
出版の本を薦められて読んだのです。改めて、太陽光線の恵み

夫婦そろって毎日
サンモアを使っています

江戸川区 原田史郎様
政子様

光線の恩恵を正しく認識しなければなりませんね。そのために、益々、御活躍されますよう、心から願っております。

と威力を再確認しました。長男はサンモアに助けられましたが、藤田先生の誠意には、感謝の思いでいっぱいです。今、急に社会全体が、太陽

は、日光の恩恵を、私たちに気づかせてくれる本です。人は、往往にして、当たり前に存在するものの大切さには気がつかないことが多い、失った時、初めてその価値に気がつくのかもしれません。 (宇都宮正範)

サンモア体験記募集

サンモア光線協会では、皆様からの体験記を募集しております。なお掲載させて頂いた方には、薄謝を贈呈致します。

サンモア体験記の投稿について、メールでの募集も開始いたしました。下記のアドレスまで、お気軽にご投稿をお願い申しあげます。

メールアドレス : sanamore@hr.catv.ne.jp

(本紙の無断転用を禁止します。)

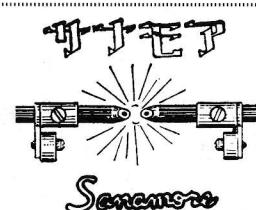
〒153-0063
東京都目黒区目黒4-6-18

「健康と光線」の購読者を募集します。
また事業の詳細はお問い合わせ下さい。

医学博士
宇都宮
光明

サンモア光線協会は、サンモア光線療法に対する認知と評価を高めるため、
一、季刊紙、「健康と光線」の発行
二、サンモア光線治療師の募集と育成
の事業を行います。

サンモア光線協会は、太陽光線こそ健康を増進する自然の恵みの源泉であり、生命力を高めて病気の予防、治療に効果があるとの観点に立ち、太陽光線に近似したフルスペクトル光線を放射するサンモア光線療法の啓蒙、普及活動に努めることで、国民の健康、福祉に貢献します。



サンモア
光線協会
趣意書